

真理子先生の

女性の ミカタ

コロナウイルス ワクチン接種への心配事

真理子レディースクリニック
院長

伊藤 真理子

●(いとう・まりこ)1986年山形大学
医学部卒業。山大病院、篠田総合
病院を経て2005年6月に真理子レ
ディースクリニックを開業。日本産科
婦人科学会認定産婦人科専門医。



コロナワクチン接種が
進むにつれ、当院でもワ
クチン接種に関する質問
が激増しています。代表
的な疑問にお応えしま
しょう。

体調不良時は避けて

まず生ワクチンではな
いので接種によるコロナ

感染はありません。予防
接種は体調が良い時にす
るのが基本。急性疾患な
ら病気が治って2週間を
目安に。はしかなど免疫
を抑制する疾患は4週間
は間を置きましょう。

1回目と2回目の間隔
は、米ファイザー社は3
週間後、米モデルナ社は
4週間後が目安で、それ

を超えれば速やかに接種
を受けましょう。

他のワクチンは？

原則としてコロナワク
チンとそれ以外のワクチ
ンは同時期に接種できま
せん。他のワクチンを接
種する必要がある時は、
片方のワクチンを接種し
てからもう片方のワクチ
ンを接種するまで2週間
空ける必要があります。

例えば、全3回の子宮
頸がんワクチンを接種中
にコロナワクチン接種の
案内が届いたら、子宮頸
がんワクチン接種の日に
ちを困らないように調整
する必要があります。
心当たりのある方はか

かりつけの産婦人科に早
めに相談してください。



妊娠をご希望の方へ

ネットなどでは根拠の
ない情報が飛び交って
いますが、現時点では接種
を受けて不妊になるとい
うデータはありません。

希望する妊婦さんはワ
クチンを接種することが
できます。妊娠中の方は
器官形成期(妊娠12週ま
で)は避けて出産を行う
病院にご相談を。日本産
婦人科学会ホームページ
の「新型コロナウイルス

感染症」をご参考に。

「コロナが重症化すると

コロナ感染症が重症化
した場合、リスクの1つ
が血栓症。産婦人科では
妊娠中や出産前後に血栓
症リスクが高まり、低用
量ピルやホルモン補充療
法でもリスクがわずかな
がら増えます。

コロナワクチン接種に
は何ら問題はありません
が、もしコロナ感染した
場合は速やかに産婦人科
にご連絡を。また皆様ご
存知のように日常で最も
血栓症リスクが高まるの
は喫煙です。

このタイミングでぜひ
禁煙をなさいませんか。